

## 6 . 必要拘束長及び最小切管長

必要拘束長及び最小切管長は、日本ダクティル鉄管協会が発行する

「NS形・SⅡ形・S形ダクティル鉄管管路の設計 JDP A T 35」

「GX形ダクティル鉄管管路の設計 JDP A T 57」

「S50形ダクティル鉄管管路の設計 JDP A T 59」 に準拠する。